



社会新報 (岡山県連合版) 2014年2月1日

(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3-7F
TEL03-3592-7515 1部180円月700円千160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp.okayama@helen.ocn.ne.jp

2 3月の主な取り組み

- 2月1日(土) 広島: 党中国ブロック総会 & ただものWA (党首との討論集会)
- 2月11日(火) 日本原基地撤去県民集会
8:00 党県連合出発(車)、岡山参加希望 党県連合まで電話ください。その他各支部
- 2月13日(木) 県知事要望について (事前に要望書提出した回答、協議)
- 2月15日(土) 県連合常任幹事会
- 2月22・23日(東京) 党全国連合大会
代議員(武本幹事長)は前の大会決定済 その他、県連合代表・女性代表が参加
- 3月22日(土) 党県連合定期大会
詳細は別途お知らせします。
- その他、2月25日(火) 1・2区党員会議、
2月26日(水) 県連合街宣(17:30駅前) など



2014新春旗びらき

“2014新春旗びらき”を1月25日、えきまえミヨシノで開催、来賓に政党・労働組合、民主団体や党員支持者の60名が参加 I部「特定秘密保護法はキケンな法」と題して講演、新年の決意を新たにし、II部「懇親」で交流、党再構築へ決意を確認し合った(野崎)



旗びらきは、第I部の講演で90分間みっちり勉強、講演会参加だけの人もある初めての取り組みでも新に第II部で懇親を深めた旗びらきとなりました。講演では「主権者は国民が追いやられ、明文改憲でなく実質的に変えるスタート」と、秘密保護法の危険性を指摘。「与党の絶対多数のなかで市民の自主的参加など、変わりつつある」と、世論結集

写真上: 党県連合代表挨拶する福島代表
下: I部講演の金子哲夫氏(広島県連合代表)
左: 団結ガンパロー(宮原)

この冬、記録更新を続ける寒さのなか、「まずは始めよ」の課題を提起した。第II部では、政党・労組・民主団体から挨拶を受け、なごやかな内に交流がすすんだ。代表挨拶、講演要旨は裏面の「産廃処分場建設阻止 日常活動を強めよう」

社民党岡山県連合は1月27日、岡山市北区御津虎倉(こくら) 産業廃棄物処分場建設に反対する「御津産廃阻止同盟」の中原会長を訪ね、前日26日の広島高裁岡山支部判決の話しを聞いた。判決は、産業廃棄物処理会社・西日本アチューマツトクリン(西日本ア社) 計画の処分場の建設差し止めの訴えを棄却した。一審判決を取り消し、建設差し止めを命じた。

判決はその理由で「集中豪雨の場合、ダイオキシン類・カドミウム・水銀などの有害物質が産廃処分場から大野川宇甘川、旭川まで漏れ出し、安全な水を守れない恐れ」があり建設を差し止める必要があるとした。しかし、年が明けて1月8日、西日本ア社は、建設差し止めを不服として最高裁に上告した。御津産廃阻止同盟の中原会長は「業者側の上告は予想していたとおりです」と、建設を撤回させるまで戦う決意を伺った。(福島)

社民党全国大会が今月22・23日に東京で開催されます。吉田新党首のもと、党再構築への行動は待たないです。党県連合も昨年末には連日して特定秘密保護法に反対する街宣や、12月常任幹事会で街宣・講演会などの定例化など、日常活動の強化方針を確認しました。

岡山の1・2区支部連合でも1月の党員会議で支部会議の定例開催を毎月4火曜に決め、支部活動をもっと元気にして行こうとなりました。

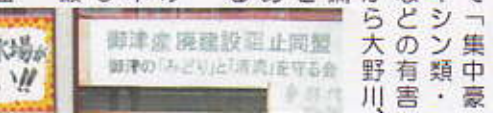
と1月22日夕刻、岡山駅前特定秘密保護法廃止の街宣を行いました。ピラ配りにはツイッターで行動予定を見たという市民(女性)の参加や、初めて学生(20歳男)がマイクを持つなど、寒さも吹き飛ばす行動ができました(池田)



街宣活動に学生もマイク持ち 党県連合定期大会(3月22日)に向けて

「新報」読者会
2月18日(火) 18時
2月第2は休日のため
2月21日(第3金) 18時
※いずれも党県連合会議室

福島の言う「名護市民の声は声として、埋立て移転は罵々として進める」のは民意に背くものだ。東京とアメリカの意向の押し付けは、沖縄県民への国家的暴力である▼沖縄の選択に傍観者であることは政権に与するものと同じだ。都知事選に総意を示すことで連帯することが出来る(の)



師・官兵衛、今年のNHK大河ドラマだ。主人公の黒田官兵衛は「稀代のNo.2」と言われたが、歴史の表舞台では余り描かれていない▼その官兵衛の言葉がTVで取り上げられ興味をもった。「主君の言いに背いて罰を受けるより、臣下百姓の罰を受けるべし」。主君に逆らって罰を受けるより、主君の機嫌をとることの方が大きな罰をうけることになる▼1月19日、沖縄・名護市長選挙の結果は、辺野古の海を埋め立て新基地建設を金の力で押し付ける安倍政権の強引なやり方に明確に「ノー」を示した▼新聞は「心を売らなかつた」と市民の声を伝え、流れは確実に変化しつつある。福島・南相馬市でも「脱原発」を訴えた市長が勝利した▼為政者の言う「名護市民の声は声として、埋立て移転は罵々として進める」のは民意に背くものだ。東京とアメリカの意向の押し付けは、沖縄県民への国家的暴力である▼沖縄の選択に傍観者であることは政権に与するものと同じだ。都知事選に総意を示すことで連帯することが出来る(の)